

「社会インフラテック2019 国民会議ブース出展」 (R元.12.4~6)

- ◆ 広く一般に「インフラメンテナンス国民会議」を認知してもらい、インフラメンテナンスの理念普及を図るため、ブースの出展を行いました。
- ◆ 今回は、特に地方フォーラムの取組PRに重点を置いた構成と、合わせて第3回インフラメンテナンス大賞受賞者紹介を行いました。
- ◆ 国民会議の取組に興味を持っていただいたブース来場者から、3日間で約400名にアンケートのご協力をいただきました。

【開催概要】

〈主催〉自治体支援フォーラム
 〈日時〉令和元年12月4日(水)~6日(金) 10:00~17:00
 〈会場〉東京ビックサイト(社会インフラテック2019内)
 〈来場者(アンケート回答数)〉約400名

【ブース展示状況】



「インフラメンテナンス国民会議」は、産学官民が一堂となってメンテナンスに取り組む社会の実現に向け、活力ある社会の維持に専ずすることを目指し、平成28年11月に設立された組織です。

5つの目的

1. 産学官民の連携と連携強化
2. 産学官民の連携と連携強化
3. 産学官民の連携と連携強化
4. 産学官民の連携と連携強化
5. 産学官民の連携と連携強化

各地域で産学官民の様々な方が集い、地域特有の課題解決や改善・向上に向けた主体的な取り組みが進められています。

実行委員会

代表者	会長	副会長	幹事	幹事	幹事	幹事	幹事	幹事	幹事	幹事
国土交通省	国土交通省	国土交通省	国土交通省	国土交通省	国土交通省	国土交通省	国土交通省	国土交通省	国土交通省	国土交通省

産学官民の連携と連携強化

我が国のインフラを、効率的・効果的に維持管理していくため、多くの民間企業・団体・行政機関・個人が加入し、ともに考え、行動を始めています。

H28.11月の会員数発表から、約3年間で、全国の加盟団体数は約10倍に増加し会員の数が急増しています。

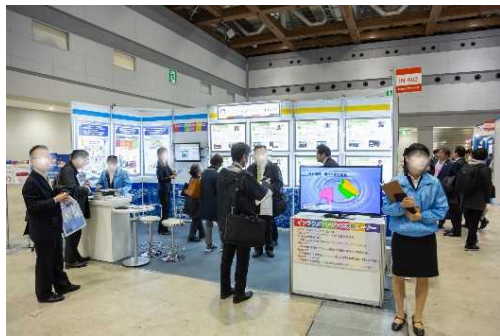
1,853者

加盟団体数(2019年11月現在)

374団体	37%
374団体	37%
374団体	37%
374団体	37%
374団体	37%

加盟団体数(2019年11月現在)

733者が会員になっています。



北海道フォーラム

平成30年3月23日に設立し、北海道内の地方公共団体が管理する土木施設・公共施設の適切なメンテナンスを継続していくため、産学官民の技術や知恵を総動員するプラットフォームとして、活動しています。

これまでの活動実績

北海道フォーラム in 旭川

～SIP地域実装による地方のインフラアセットマネジメントを考える～

～インフラアセットマネジメント、新技術の導入について考える～

北海道フォーラムでは、「新たなノウハウを活用した地方インフラアセットマネジメントを推進」と題したシンポジウムを開催しました。

インフラメンテナンス映像コーナー

○インフラメンテナンス国民会議
 ○第3回インフラメンテナンス大賞 大賞受賞者

- ・東日本旅客鉄道(株)
- 「保線におけるIoT技術の実用化とメンテナンスへの応用」
- ・(株)タボタ
- 「下水道圧送管路における硫酸腐食箇所の効率的な調査技術」
- ・名古屋大学
- 「大学研修施設(大規模橋モデル)を活用した「臨床型」の橋梁維持管理技術者育成」
- ・東京水道サービス(株)
- 「時間積分式漏水発見器による効率的な漏水発見手法(スクリーニング工法)」